

本住寺便り

平成二十三年

お盆

妙見山本住寺

倉敷市真備町服部 一五八七

0855-5411-4440

<http://www.honjuzi.com>

法華経を信ずる者の群に、仏の音声を留めし

時々刻々念々に我死せざる由を聞かじむるなり。」

(高祖日蓮聖人・守護国家論)

仏さまは真理の言葉（音声）を留め置かれて、我々が生々不滅であること、教え聞かせてくれています。悠久なる宇宙の生命を思い、自分の生活に反省して法華経を信じ合掌していると、仏の御声を真実なりと頂くこと出来るのです。法華経が説き明かす教えの中心は「方便品」での二乗作人類の徹底的な救済と、「寿命品」の久遠実成すべての宇宙生命の永遠性。私たちは毎日、空気が太陽や水のお世話になって生活しています。万一それら一刻たりとも無くなれば、私たちの生活は成り立たず、これと同様に、宗教思想の根柢は法華経において他に成り立ちえず、法華経において初めて宗教救済の根本が説き示されたのです。今回の被災地・岩手県の内陸部花巻市に誕生し、法華経の純心な信奉者であった詩人・童話作家の宮沢賢治



の作品には、法華経の世界がやさしい言葉となつて翻訳されています。この夏、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」と、その生涯を法華経信仰に捧げた賢治を思い、今の日本に最も必要なものは何なのかと考えてみましょう。

秋のお彼岸

九月二十三日(金)

午後2時より

お彼岸とは、六波羅蜜【布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧】修行の実践週間のことです。春分・秋分の日をはさんで前後各三日の六日間は、日常生活の中で自らを振り返る修行をしたり、法華経神力品の中に『是の中に皆塔を起して供養すべし』とありますように、塔に卒塔婆を立ててご先祖様のご供養をする大切な期間となります。

本住寺では、本堂にて檀家さんの先祖供養の為のお経をおがんでおります。お経の途中でもご自由にお入りいただけますので、お墓参りやお寺参りを兼ねて、是非お気軽にお参り下さいませ。また、同時に塔婆供養も受け付けております。ご希望の方は、前日までにお申し込み下さい。それぞれのお塔婆は法要が終わった後にお渡し致しますので、お墓やご仏壇へお納め下さい。

信行唱題会のお知らせ

『命に合掌しお題目を唱えましょう』

八月二十八日(日)

九月十八日(日)

午後2時より

恒例となりました信行唱題会も月に一度、楽しく催しております。

団扇太鼓でお題目を唱えることを中心に、その時々に合わせて法話も交えながら、お経を唱える時の作法等を一緒に楽しく実践しています。一心に大きな声でお題目を唱えることで、口頃のストレスを解消したり、ご本尊様と向き合い自分を見つめ直すことで、日々の生活がもっと素敵になるかもしれません。

法話、唱題行が終わった後の、ごしゃべりも楽しいですよー！

六ツ森ケイ子 「ごよつこ」でらじお

お寺で過ごす優しいひととき

「ごよつこ」寺へようこそ！

お寺の本堂での和気あいあいとしたお箏のライブです。やさしい音楽や楽しいトークにまつたりカフェタイムで、リフレッシュしませんか？

九月十一日(日)

午後3時より

チケット

三千元

(ライブ&ケーキ&トーク)

※事前にチケットのご購入をお願い致します。